

第52回大会に寄せて



2020年は新型コロナウイルス感染症に始まり、同様に新型コロナウイルス感染症で終わるのではないかとさえ思われます。世界的には、アメリカ合衆国、南米諸国、アフリカ、中東にて患者の急増が続いており、終息の見通しすら立っていない現状です。日本ではすでにピークを越え緊急事態宣言も解除されました。東京ディズニーランドの観客数を制限してのオープンなど、各所で感染対策に配慮した形での社会活動の再開が見られます。とはいえ、6月30日現在、東京とその周辺ではいまだにPCR陽性者が1日数十人規模で発生し、予断を許さない状況が続いています。クラスター形成が起こる場所の特徴はすでに我々が学習した通りであり、東京周辺のくすぶっているような状況が1日でも早く改善することを願って

います。

本学会総会とJACLaS EXPOは、予定通りの開催を目指して準備を進めております。開催に際しましては、感染対策に細心の配慮を行い、会場やイベントの関係諸団体のガイドラインを遵守いたします。参加人数を例年よりは少なく見積もっており、例年とは少し違ったスタイルの学会となるかもしれませんが、横田浩充大会長をはじめ、皆様のご尽力によって魅力的なプログラムを準備することができました。JACLaS EXPOと合わせて、皆様にとって必ずや有意義な学会となることと思っております。

大会まで3か月となりました。1日も早く新型コロナウイルス感染症の流行が終息することを祈ります。いまだ不確実な要素は残されておりますが、万全の準備をしつつ、大会を迎え成功させたいと願っております。首尾よく大会開催となった暁には、会員の皆様の熱心なご参加と、感染対策へのご協力をお願い申し上げます。

一般社団法人日本医療検査科学会理事長
萱場 広之